

<NEWS LETTER>

報道関係者各位

2023年9月5日（火）

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

都市の魅力を「写真」と「言葉」で繋げる。
戸田建設×T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 共同プロジェクト
企画展『Tokyo Dialogue 2023』開催決定のお知らせ

3年にわたり「変わる東京」の姿を切り取る長期企画

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY（東京都中央区）は、2023年10月7日（土）～29日（日）の22日間にわたり東京駅東側エリア（「東京スクエアガーデン」、「東京ミッドタウン八重洲」、「国立映画アーカイブ」他）で開催される、屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』にて、戸田建設株式会社（東京都中央区）との共同プロジェクト『Tokyo Dialogue 2022-2024』の本年度の企画展『Tokyo Dialogue 2023』の開催が決定しました事をお知らせします。

『Tokyo Dialogue 2022-2024』は、京橋に120年余り本社を構える戸田建設と、京橋を含む東京駅の東側エリアで屋外型国際写真祭を展開するT3 PHOTO FESTIVAL TOKYOが共同で2022年から3年間かけて展開するプロジェクトです。このプロジェクトでは、毎年、「写真家」と「書き手」がペアとなり、京橋を舞台に「写真」と「言葉」で紡ぎ出す“対話”を通して、変わりゆく都市の姿を描き出します。本年は、写真家の山元彩香、村越としや、濱田祐史、書き手の川野芽生、神野紗希、水沢なおの6名が参加。写真家が撮った写真作品に対して、書き手が短歌、俳句、詩で応答し、両者がコラボレーションした作品を屋外に展示するとともに、作品集を制作・発表します。目に見えない土地の歴史、あるいは変わりつつある街や人々の風景など、様々な観点から都市の姿を自由に解釈し捉えた作家たちの作品を通じて、未来に残る「東京」のドキュメントになればと考えています。

Tokyo Dialogue 2023

Tokyo Dialogue 2022-2024

企画展『Tokyo Dialogue 2023』キービジュアル

◆企画展『Tokyo Dialogue 2023』

｜開催概要

企画名：企画展『Tokyo Dialogue 2023』

内容：T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO が、東京・京橋に120年余り本社を構える戸田建設株式会社と共同で、2022-24年の3年間にかけて実施するプロジェクトの第二弾。このプロジェクトでは、毎年、写真家と書き手がペアとなり、京橋を舞台に「写真」と「言葉」で紡ぎだす“対話”を通して、変わりゆく都市の姿を描き出します。

会期：2023年10月7日（土）～29日（日）

会場：TODA BUILDING 工事仮囲（東・南面）（東京都中央区京橋1-7-1）

アクセス：JR 東京駅（八重洲中央口）徒歩7分、東京メトロ銀座線・京橋駅（6番出口）徒歩3分、東京メトロ・銀座線/東西線/都営浅草線・日本橋駅（B1出口）徒歩5分

入場料：無料

出展作家：出展作家の組み合わせは以下のとおりです。

<写真家>山元彩香×<歌人>川野芽生

<写真家>村越としや×<俳人>神野紗希

<写真家>濱田祐史×<詩人>水沢なお

キュレーター：小高美穂

企画：T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 実行委員会、戸田建設株式会社



昨年度『Tokyo Dialogue 2022』の様子

｜出展作家／キュレーターのご紹介

— 写真家 —



山元 彩香(やまもと あやか)

1983年兵庫県生まれ。京都精華大学芸術学部造形学科洋画コース卒業。馴染みのない国や地域へ出かけ、そこで出会った少女たちを撮影することで、その身体に潜む土地の記憶と、身体というもの空虚さを写真にとどめようとする。近年の展覧会に「記憶は地に沁み、風を超え 日本の新進作家 vol.18」（東京都写真美術館、2021年）、個展「We are Made of Grass, Soil, Trees, and Flowers」（Taka Ishii Gallery Photography/Film、2021年）。2018年さがみはら写真新人奨励賞を受賞。

Web : <http://ayakayamamoto.com/>

Instagram : @ayakayamamotoo



村越 としや(むらこし としや)

1980年福島県生まれ。故郷の福島県を主な被写体を選び、人の持つ潜在的な記憶と自身の記憶、そして土地の記憶をなぞるように継続的な撮影を行う。2011年の東日本大震災以降はより重点的に福島県の撮影に取り組み、写真術を用いて風景の変化と矛盾、人々の視覚的な認識の違いなどを見出だそうとしている。写真を発表する手段、場についても意識的である。2011年日本写真協会賞新人賞、2015年さがみはら写真新人奨励賞を受賞。

Twitter : @murakoshi_t

Instagram : @murakoshi_toshiya

濱田 祐史(はまだ ゆうじ)



1979年大阪府生まれ。2003年日本大学芸術学部写真学科卒業。東京を拠点に国内外で作品を発表している。写真の原理に基づき概念を構築し、自身の記憶、偶然などを介して写真の多様な表現機能に根ざしたパフォーマンス的な作品を制作。近年の展覧会に「沈潜と蒸留」(ミュゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション、2020年)、「至近距離の宇宙 日本の新進作家 vol.16」(東京都写真美術館、2019年)、個展に「Incidence and Reflection」(2022年)など。

Web : <http://hamadayuji.com/>

Twitter : @YujiHamada1

Instagram : @yuji.hamada

— 書き手 —

川野 芽生(かわの めぐみ)



1991年神奈川県生まれ。歌人、小説家。東京大学大学院総合文化研究科博士課程在籍中。2018年、第29回歌壇賞受賞。第一歌集『Lilith』(書肆侃侃房、2020年)にて第65回現代歌人協会賞受賞。著書に短篇集『無垢なる花たちのためのユートピア』(東京創元社、2022年)、掌篇集『月面文字翻刻一例』(書肆侃侃房、2022年)、長篇『奇病庭園』(文藝春秋、2023年)がある。

Web : <https://daydreamletter.amebaownd.com/>

Twitter : @megumikawano_

神野 紗希(こうの さき)



1983年愛媛県生まれ。俳人。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句を始める。第11回桂信子賞受賞。句集に『光まみれの蜂』(角川書店)『すみれそよぐ』(朔出版)、著書にエッセイ『もう泣かない電気毛布は裏切らない』(文春文庫)ジュニア向け『俳句部、はじめました』(岩波書店)他。日本経済新聞俳壇選者。現代俳句協会常務理事。聖心女子大学講師。

Twitter : https://twitter.com/kono_saki?s=20

水沢 なお(みずさわ なお)



1995年静岡県生まれ。詩人。2016年第54回現代詩手帖賞、2020年第1詩集『美しいからだよ』（思潮社）で第25回中原中也賞受賞。詩集『シー』（思潮社）、小説集『うみみたい』（河出書房新社）。

Twitter : @mizusawanao

— キュレーター —

小高 美穂(おだか みほ)



写真を中心とする展覧会のキュレーションや、コーディネート、作家マネジメント、執筆を中心に、日本と世界をつなぐ様々なフィールドで活動している。2015年東京国際写真祭、2017年T3 Photo Festivalにて展覧会キュレーション。2019年表参道画廊での「家族系統樹」展キュレーション、2015年より国際写真賞「Prix Pictet」東京巡回展のコーディネート及びキュレーションを担当。

◆写真集『Tokyo Dialogue 2023』

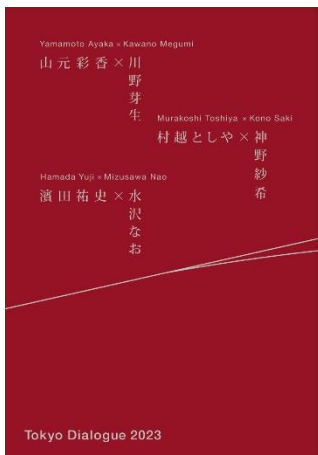
本展に向けて制作された作品（写真38点・詩歌21点、展覧会未発表作を含む）を収録。『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』の会期中に販売します。

販売期間：2023年10月7日（土）～29日（日）

販売場所：72 Gallery（東京都中央区京橋3丁目6-6 エクスアートビル1F／営業時間12:00～19:00）

オンラインショップ（<https://t3photo.base.shop/>）

販売価格：2,000円（税込）



書名：写真集『Tokyo Dialogue 2023』

写真：山元彩香/村越としや/濱田祐史

言葉：川野芽生/神野紗希/水沢なお

デザイン：中島雄太（Yuta Design Studio）

仕様：A5判・64頁

発行日：2023年10月7日

発行：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

◆ TODA BUILDING について

戸田建設は、京橋一丁目で本社建替えを含む大規模開発を進めており、2024年に「TODA BUILDING」を竣工し街区が生まれ変わります。都市再生特別地区、土地区画整理事業などの開発制度を活用し、建物低層部に京橋エリアの地域特性を活かした“新たな芸術文化の拠点”を形成します。上層部はテナント専用ビジネスサポート施設を有するオフィスフロアで構成し、来街者や働く人がアートに出会う場を創出します。



TODA BUILDING 外観

◆『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』開催概要

名称：『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

会期：2023年10月7日（土）～29日（日）

会場：東京駅東側エリア（八重洲・日本橋・京橋）

東京スクエアガーデン、東京ミッドタウン八重洲、JR 東京駅（八重洲中央口改札外 グランスタ八重洲）、国立映画アーカイブ、TODA BUILDING 工事仮囲、東京建物八重洲ビル、東京建物日本橋ビル、東京建物八重洲仲通りビル、大丸東京店、BAG-Brillia Art Gallery- + 2、art space kimura ASK?、72Gallery 他

入場：無料

主催：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

主管：株式会社シー・エム・エス

企画：T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 実行委員会

特別協賛：TOKYO SQUARE GARDEN、東京ミッドタウン八重洲、東京建物株式会社、戸田建設株式会社

協賛：一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会、中央日本土地建物株式会社、大丸東京店

協力：国立映画アーカイブ、東京地下鉄株式会社、株式会社 POD、株式会社フラットラボ、公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団、株式会社クオラス、株式会社写真弘社

後援：京橋一の部連合町会、京橋三丁目町会

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

公式サイト：<https://t3photo.tokyo/>

※協賛企業社名は現時点の情報です。更新される可能性があります

◆ T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO とは？

2017年の開始から今回で5回目を迎える「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO」は、世界的にも珍しい大都市の中心で開催される「屋外型国際写真祭」です。メインの舞台となるのは東京の【八重洲・日本橋・京橋】。中でも八重洲・京橋は、東京駅や銀座、日本橋に挟まれた絶好の立地にも関わらず、多くの人にとってオフィス街のイメージがあります。しかし、その歴史を紐解くと、江戸時代には城下町として文化が栄え、明治、大正、昭和と多くの文化人が足しげく通ったエリア。現在も江戸時代から続く老舗や、150以上の古美術商や画廊が存在するなど、都内有数のアートの集積地として高いポテンシャルを秘めています。世界水準のアーティストたちによる作品展示やパブリックプログラム、さらには、日本国内14の美大・専門学校と協力し開催する「STUDENT PROJECT」を通じて、同エリアが「次世代の写真文化を育むアジアのハブ」となることを目指し開催しています。



◆一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY(T.I.P.)について

| 写真の未来を語り、交流する場所の創造

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY (T.I.P.) は、(1) 教育事業、(2) アーティストインレジデンス (AIR) 事業、(3) 地域文化事業という3つの事業を柱に活動を行う一般社団法人です。写真展示ギャラリーや、会員向けライブラリー、撮影スタジオなどの設備を持ち、写真文化と地域への貢献をミッションに活動をしています。

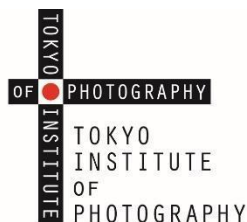
会社名：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

創業：2010年08月

所在地：東京都中央区京橋3-6-6 エクスアートビル1F

電話番号：03-5524-6994

HP：<https://tip.or.jp/abouttip>



【本件に関するお問い合わせ（掲載・露出不可）】

本フェスティバルのディレクターであり創設者である速水惟広や、展示キュレーター（後日発表）への「インタビュー」、開催会場での「撮影取材」についても調整可能です。是非、お気軽にお問い合わせください。

画像素材⇒ <https://drive.google.com/drive/folders/1jiXxCVe-4YdDEo-mXWs-JEzsvm-r9l4I?usp=sharing>

[1] 広報全般のお問い合わせ

株式会社ロールアップ 広報担当：岩田（いわた）

MAIL： iwata@rollup.day / MOBILE：070-9027-2815 /

[2] 展示企画、キュレーター等への取材はこちら

株式会社シーエムエス 東京（京橋）本社 担当：堤谷（つつみに）

TEL：03-5524-6991 / FAX：03-5524-6992 /

MAIL： hana.tsutsumitani@cmsinc.jp
